

Readers' Voice

このコーナーでは
前号のアンケートや
投書箱に寄せられた声を紹介していきます

RJ第90号（2013年11月発行）アンケート結果

Q1 プチ濃！廃道あるき 第六回 牛奥沢林用軌道
(by ヨッキレン)

5 おもしろかった・役に立った	12
4 ↑	4
3 ふつう	0
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	4.8

10月頭に30℃を越えていたのがウソのような冷え込みを、ここ数週間で経験しました。公園の桜はすっかり秋色です。季節はちゃんと回ってくるもんなんだなあとしみじみ思う今日この頃です。秋のはじまり？が遅かったせい？？で今だに「食欲の秋」が続いている私ですが、探索にはもってこいの季節、皆様はもっと有効に活用して下さいね～。(受)

※アンケートは17日PM0:00時点の結果です。

みなさんのコメント

- 自分も今稲又の本線と支線を探索中ですが、牛奥沢は登山道になっているという情報で後でいいかと思っていましたがやはり行ってみないとわからないものですね。いい軌道跡です！

[編] 地味だけど見どころもある、掘り出し物的な軌道跡でした。
(ヨ)

- 今回は北村氏のレポにちょっと喰われた感がありますが(ww), 楽しかったです。素朴な疑問なのですが, ORJやサイト記事も含め, 同一日や近い期間に取材した場所のレポートが何年も隔てて行われるのには何か意図があるのでしょうか? ドチテぼーやですんまそ。(お)

[編] ご質問の回答としては、単に私の気まぐれであります。

探索→ 一旦ストック→ 気が向いたものから机上調査→ 執筆 というのが普段の流れでして、机上調査のタイミングが執筆のタイミングとなっていることが多いです。(ヨ)

- 「ヤマレコ」(<http://www.yamareco.com/>)を見ると結構人気のコースのようですね。

右上の「地図」をクリックするとGPSログが沢山あるのを見て取れます。

ただ、オーバーハングを誰が作ったのかわからずに居る人も多いようです。

登山をしている者であるならば、黒部の有名な断崖絶壁の登山道が有名ですから、少し考えればわかりそうなもんですけどね。

駐車場の看板には林鉄跡だという案内とかは書いて無いのでしょうね。

余談ですが、健脚の方だと策ヶ岳まで日帰り可能のようです。

[編] 登山道周辺には軌道跡を知らせる掲示物は無かったですね。

それにしても、策ヶ岳が日帰り可能とは、驚きです。(ヨ)

Q2 大和谷森林軌道～まぼろしの最奥を追う～【前編】 (by 北村)

5 おもしろかった・役に立った	6
4 ↑	2
3 ふう	0
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	4.8

みなさんのコメント

- 臨場感もあり、何より緻密な考察と現地での対比が勉強になります。これだけのボリュームでまだ前編！来月が楽しみ。

[編] 私も楽しみながらpdf作成をさせていただきました。自分が一度探索した場所を、他人の視点で、かつ自分よりも精確に調べるとこんなにも発見があるのだなあと。私の調査力不足・思い入れの不足を痛感した次第です(特に今号の記事などは!)。資料の精査と綿密な現地探索、それらを組み合わせる未知の遺構を導き出す技量。過去の事実を明らかにしようという姿勢。そして何よりご自身のうちから湧き出る疑問をとことん追究する熱意。探索をまさに廃道探索の醍醐味を具体化したような記事で、お手本にしなければと思いました。感謝!
(な)

●地元の記事ということで興味深く拝読しました。続きを楽しみにしています。

●普段メガネなので雨や汗でメガネが曇る気持ちは私もよくわかります。

私の場合、登山に行く際はメガネではなく1日使い捨てのソフトコンタクトレンズを使っています。

メガネの心配が無く、他のことに集中出来るので良いですよ。

最初に一度だけ眼科に行って度数を測ってもらって処方箋貰う必要がありますが、

最近は処方箋不要でネット通販も出来ますからオススメです。

痛み、違和感は皆無です。眼球って触っても何も感じないんですね。

[編] 私もメガネ組なので北村氏の苦勞に共感しました。曇るのはもちろんですが、メガネに汗が滴ってベチヨベチヨになってしまうのが一番イヤです。

かといってメガネを外してしまうわけにもいかず……。特に斜面を昇り降りして道を探さねばならないような時は。斜面の凹凸がどれも道に見えてしまっただけで無駄足を踏まされる……。
(な)

[編] だからあの変なメガネなのね！(受)

[編] 変とは失礼な。結構便利なんだぞ。(な)

Q3 廃道余話 廃道で寝た話

5 おもしろかった・役に立った	3
4 ↑	1
3 ふつう	0
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	4.8

みなさんのコメント

●山奥の林道・廃道での野宿はいいものですよ。以前、池原の池郷・白谷山林道で「楽しみビバーク」したことがあります。峰を渡る風の音に畏敬という言葉がよぎりました。なるほど冬場なら、いっぽんたたたらが現れても不思議ではありませんね。最近は実害のある熊との遭遇も少なくないようなのでご注意ください。ところでなぜ、いまどきの人は生活設備の整ったキャンプ場にわざわざキャンプに行くのか理解出来ません。

[編] 同感！ とはいふものの、整ったキャンプ場でのキャンプであっても「非日常」を感じられ、楽しめる方は、それはそれで幸せなのかなあと思ったりもします。私らの非日常は閾値が高すぎて、ちょっとやそっとじゃ満足できない……。 (な)

[編] お酒が大好きな人が、飲めない人を哀れに思うようなものですかねえ。(受)

Q4 旧橋紀行 (51) 奈良県・(旧)川津大橋

5 おもしろかった・役に立った	2
4 ↑	1
3 ふつう	1
2 ↓	0
1 つまらなかった・役に立たなかった	0
平均点	4.3

みなさんのコメント

●三弦トラスの吊り橋なら近くに「秋葉橋：天竜川」があり、今でこそ歩行者用ですが、昔は自動車も通れました。はっきりした長さはわかりませんが、地図上の計測では210m程度あります。父の話では、「昔大井川にかかっていた橋を買い取って移設した。長かったので、少し詰めてあそこにかけられた」ということでした。データを見ると、案外いい線行きそうな規模なんですね。

[編] ほんとだ！ 橋梁史年表で調べたら [これ](#) かなあとというのがありました。元の橋は昭和29年(1954)架設で、特に三弦トラスとは書かれてませんが、幅員2.2mの鋼吊り橋となっています。秋葉ダムも風屋ダムと同じく電源開発が建設しているそうですから、秋葉橋の移設・架橋が川津大橋のきっかけになったのかも知れませんね〜。(な)

●へえ〜。この橋ってそんなにユニークな橋だったんですねえ。以前、2度程乗用車で渡ったことがあります。紀伊半島豪雨の年の春だったかもちょっと前だかにも、R425の玉垣内から入って湖水南部に至る道を経てこの橋に行ったら確かに通行止めになっていました。ところで、毎刊2~3ページで橋の構造の特集連載を是非やってくださいなあ。(お)

[編] 記憶が定かでないので書きませんでした。私もその昔、この橋を渡ったことがあるかも知れませんが。平成6年(1994)の夏合宿で奥千丈林道を登っていますから。川津大橋か新川津大橋のどちらかを渡ったのは間違いないんですが、ついていくのが精一杯で風景を全く覚えていないうえ、合宿記録が残っていないので、跡を辿ることもできません……。(な)

[編] 前日の晩に「鍋に千円」事件があったんでしたっけ。(受)

[編] 鍋の名前と同じだからといって、我々に千円恵んでくださった林さん、今頃どうしてるだろう……(な)

Q5 Readers' Voice

Q6 今号で印象に残った記事を教えてください(いくつでも選択可)。

Q7 ご意見承ります。

[編] 回答ゼロなんで飛ばしまーす。(編)

